



上野 一彦

一般社団法人 日本LD学会 理事長
一般財団法人 特別支援教育士資格認定協会副理事長
日本発達障害ネットワーク 理事

設立20周年おめでとうございます。ひとでいえば成人を迎えたわけです。今日の特別支援教育の隆盛をみると、手弁当で明日の光明を探ってきた20年前が夢のようです。保護者のみなさんのお子さんを思う熱い気持ちが、点から線、線から面となって広がっていききました。これからも子どもたちの幸せな明日に向かって手を携えてやっていきましょう。



納富 恵子

国立大学法人 福岡教育大学大学院 教職実践講座 教授

20年前、上野一彦先生の発案で、「たけのこ」は芽をだした。最初に集まった保護者の方々のお子さんには、法や制度は、間に合わなかったけれど、素晴らしい仲間との出会いの中で、多くの専門家の力をかり、確実に誰もが力をつけた。「たけのこ」の保護者の方々の、パイオニアとしての姿に、多くの人が勇気もらった。社会人として、自立し貢献をしている「たけのこ」の子どもたちが、さらに増え、幸せに暮らせるように、「たけのこ」は進化していかれる予感がする。



中山 健

国立大学法人 福岡教育大学 特別支援教育センター 准教授

たけのこ20周年おめでとうございます。たけのこの取り組みもずいぶん変わったように思います。いくつものグループに分れた活動がどれも熱心に取り組まれていますね。20年間の地道な活動の成果だと思います。とても頼もしい限りです。これからも会の活動が益々深まっていけることを願っております。



吉川 昌子

中村学園大学短期大学部 幼児保育学科 准教授

ひとつの会に多くの方が集えば、それだけたくさんのお話と勇気が湧いてきます。けれどもそれを一つの形にするには、それはそれでたくさんのお話し合いや、歩み寄りの努力が必要です。子どもたちの健やかな成長と、彼らの生きる社会をよりよいものにするという保護者の方々の熱意が、様々な障壁を何度も乗り越えて力に変えていったことと拝察致します。その20年の歩みに敬意を込めて、さらなる発展を期待しております。



酒井 均

学校法人 筑紫女学園大学大学院 発達臨床心理学科 教授

たけのこが20周年を迎えたとのこと、心からお祝い申し上げます。私が見ていた最初の子ども達は、皆大人になり感慨無量です。この20年の社会は大きく変わりました。でも実感としてはまだまだ不十分、まだまだ安心には程遠いというところでしょうか。しかし、待っていても何も変わらないのは昔も今も変わりません。何かを自ら起こさなければならぬのです。その手助けのためにもたけのこの役割はますます大きくなっていくと思われまふ。今後の会の発展を期待しています。



佐藤 秀明

みやぎNPOここねっと 発達支援センター 理事長

「たけのこ」創立20周年おめでとうございます…みなさまのこれまでの支援の取り組みの姿に心から敬意を表します。こども理解と支援のための教育講演会やセミナー…そして夏のキャンプ…親父の会…夜の街探検隊…「たけのこ」の取り組みのすばらしさを実感しています。ますます「たけのこ」のステキな取り組みにわたくし少しもお手伝いできたらと思っています…。



黒田 小夜子

福岡市障がい者 就労支援センター 所長

設立20周年、おめでとうございます。お子様の社会自立に向けご家族自らが学び、積極的な活動をされていることにいつも大変感心しております。これからも、心に描いた将来像に向かって、お一人お一人が自分らしく、そして「たけのこ」のようによく伸びていかれますことを、併せて「たけのこ」の今後ますますのご発展を心よりお祈りいたしております。

おめでとう!!!

「たけのこ」20周年



竹田 契一

一般社団法人 日本LD学会 副理事長
一般財団法人 特別支援教育士資格認定協会理事長
日本発達障害ネットワーク 理事
大阪教育大学名誉教授

「たけのこ」が20周年を迎えられたこと本当におめでとうございます。20年前は、どの地域の教育委員会や小児科の専門医でも発達障害に対する理解に乏しく、保護者はどうしていいかわからず途方にくれた時代でした。「何かおかしい、どこかおかしい」と思っても担任には「お母さん、思い過ごしですよ。こんな子ほかにいますから」と言われ相談する場所もなく年月だけ立っていたのではないのでしょうか。LD・ADHD・高機能広汎性発達障害に対する教育は、見つかった時がスタートです。手遅れはありません。最近では、RTI (Response to Intervention) 気づいた時にすぐ介入と言う考えが特別支援教育の主流になりつつあります。親の会の後押しで学校にRTIの流れを早く作りたいものですね。一緒に頑張りましょう。



龍 岳不二

福岡市発達教育センター 指導係長

たけのこの会発足20周年おめでとうございます。たけのこの会をはじめとする関係者の皆様の長年の努力が実り、特別支援教育制度がスタートしました。LDの子どもたちの理解と支援の取組が、今や教育に新たな光を与え、新しい歩みを進める力となっています。子どもたちの、また保護者の期待に応えられる教育の現場に近づけるよう、微力ではありますが今後も皆様とともにがんばりたいと思います。これからもよろしくお願い致します。



小栗 正幸

特別支援教育ネット代表

すまじくおをルーエにんさなみの「このけた」たれさにつせいたをんかじのてべす。すでんかじなつせいたもとうほうより。すをかになはにきと、ずせもになはにきと。すでのもいかじみはんかじるいてしをかになく、くがなはんかじいなしもにな、もで。んせまれらめどもにれだはれがなのんかじ 『これらもどうぞよろしく』

(注)「」以外は逆読みで読んでください。読みにくい子どもたちを育てておられる保護者にエールを送りたいと思いながら書いていたこうなりました(正確には誤り参照)。



緒方 よしみ

福岡市発達障がい者支援センター 「ゆうゆうセンター」所長

たけのこ20周年おめでとうございます。たけのこの活動で特筆すべきは、ご本人活動のバリエーションの豊かさでしょう。20年間、成長と共に変わる子どもと家族のニーズにあわせて、これらを創り出し、支えてこられたお母さんたちの聡明さとパワーに、心からの拍手を送ります。「一緒に悩み、一緒に育ち合いましょ。どうせやるなら楽しくね。」と、前向きで元気な皆さんの活動をこれからも応援しています。

塩永 淳子

こくま学園診療所 所長

20周年おめでとうございます。「たけのこ」の会の発足当時からみると、発達障害専門機関を受診される人は年々増えており、教育の方ではLD/ADHDの支援学級が設置されるようになりました。これらは親の会の皆さまの地道な啓発活動があったことだと思います。毎回いただく会報には、親御さん同士の支え合い、子どもさん達の仲間作りや自立への支援、発達障害関連の情報などが満載されていて、いつも学習させて貰っています。力を出し合って活動されている「たけのこ」の会の益々の発展を期待しています。



山下 裕史朗

久留米大学小児科 准教授
NPO法人くまめSTP理事
NPO法人にいろCAP理事

おめでとう「たけのこ」の成人式「たけのこ」の創立20周年、心からお祝い申し上げます。外来で診てきた子どもたちが高校生から成人に達してきました。それぞれにがんばっている姿、話を伺って元気をもらっています。傍らでうれしそうに微笑んでいるお母様にスタンディングオベーション！発達障害のある子どもたちと家族を地域で支える「ヘルスホーム」の中心として、「たけのこ」がますます伸びていくことを祈念しております。



小山 千景

一般社団法人 JSマネジメントネットワーク 代表理事

記念すべき節目の年にビジネスマナー講座を開催できましたことは大きな意味を為したと感慨無量です。お子様方が進むべき社会、とりわけ企業が求める人材について客観的に学んで頂いたことは本当に重要なことだと思います。最愛のお子様への慈愛を新たな形で手掛けていくこと。会員各位の一層のご研鑽を祈念申し上げますと共にその道程の一助をと願って已みません。

掲載にあたっては、敬称略、順不同です。ご了承ください。

(解題)「これらもどうぞよろしく」時間の流れは誰にも止められません。でも、何もしない時間は長く、何かをしている時間は短いものです。

ときには何もせず、ときには何かをする。両方とも大切な時間です。すべての時間を大切にされた「たけのこ」の皆さんにエールを送ります。